

## 施策 6

# 道路施設の適正な維持管理

### 目指す姿

- 道路の機能が適切に維持・発揮され続け、県民の安全で快適な日常生活や社会経済活動を支えています。

### 現状と課題

社会資本未来プランより

- 道路施設は膨大であり、建設後50年以上の橋梁は5割を超えるなど、急速に高齢化が進行しています。
- 限られた財源の中で、既存の道路を良好な状態で長期的に活用するために、計画的なメンテナンスが重要です。

### 管理施設の状況

主要な施設	管理数	備考
道路延長	4,167km	国道980km, 県道3,187km
橋梁	4,222橋	内、15m以上の橋1,322橋
トンネル	174本	トンネル153本, 洞門21本
舗装	3,835万㎡	
法面	11,920箇所	自然斜面, 人工斜面
附属物	30,419基	案内標識, 照明など

### 老朽化対策の事例

#### 橋梁



塗装の劣化

塗装の塗り替え

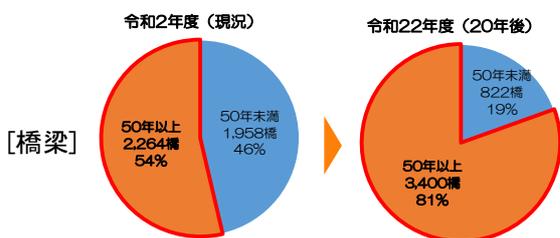
#### トンネル



コンクリート剥落の恐れ

剥落防止シート設置

### 道路施設の老朽化



建設後50年を経過する高齢化橋梁は、現在約54%であり、20年後には、約81%となり、老朽化した橋梁が急速に増大します。

これに伴い、点検において健全度Ⅲと判定される箇所が増加すると予想されるため、計画的な修繕とそれに必要な予算確保に努める必要があります。

※一般的に建設後50年を超えると、大規模な修繕工事や更新が必要となります。

### 用語説明

インフラ … 特定の人のものではなく、全ての住民の生活を支える基盤として適切な維持、円滑な運営が求められるものの総称。  
 インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み … 広島県の公共土木施設の維持管理・更新を計画的に進めるため、長期的な修繕費を試算するとともに、今後の取組を取りまとめたもの。  
 修繕方針 … 「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」に基づいて、個々の施設を適切に修繕するため、施設分類毎に具体的な修繕方針を取りまとめたもの。

## 取組の方向

## ■「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」及び「修繕方針」に基づく計画的なインフラ老朽化対策の推進

⇒橋梁・トンネルについては、定期的な点検等により変状を把握し、「予防保全型」の維持管理により安全で効果的な修繕を目指すものとし、当面の間、点検において健全度Ⅲと判定された箇所の修繕を優先的に行います。

⇒舗装については、日常的な点検や定期的な点検等により損傷を把握し、「事後保全型」の維持管理により安全で効果的かつ効果的な修繕を行います。

## ■道路施設の日常的な維持管理の適切な実施

⇒草刈りや除雪など日常的な維持管理を適切に実施し、地域住民の生活を守ります。

## ◆効果をも高める取り組み

⇒簡易カメラやAIを活用した画像解析など、点検技術や施設運用の高度化に取り組みます。

⇒ドローンや3次元データを活用した施設点検等の効率化に取り組みます。

## 道路施設の戦略的な維持管理

日常的な維持管理情報  
(維持管理データ)

- ・県民からの要望
- ・維持修繕履歴
- ・被災履歴
- ・各種施設台帳

道路維持管理システム  
(PDCAサイクルの構築)

様々な維持管理情報を一元的に管理・分析し、戦略的・効果的に維持管理を行います。

計画的な維持管理情報  
(アセットマネジメントシステム)

- ・施設の諸元
- ・点検計画、点検結果
- ・補修計画、補修履歴

## ●日常的な維持管理の適切な実施

道路の草刈りや除雪等を実施するとともに、日々の道路パトロール等により、穴ぼこ、倒木、落石等の異常を早期に把握し、適切な維持管理を実施します。



日々の道路パトロール  
(発見した穴の舗装補修状況)



冬期交通の安全確保  
(住民の生活を守る除雪作業)



地域でのアダプト活動  
(地域共同での道路除草)

## ●アセットマネジメントによる計画的な維持管理の推進

橋梁、トンネル、舗装、法面について、アセットマネジメントにより、定期点検を実施し、適切な時期に修繕することで、ライフサイクルコストの低減を図り、計画的な維持管理を推進します。



橋梁の点検状況



## ドローンを活用した施設点検



## AIを活用した低廉な路面性状の把握



路面性状の把握イメージ

## 指標

現状(R2)

目標(R7)

1巡目点検で健全度Ⅲであった橋梁の修繕割合  
(H26～H30の1巡目点検で健全度Ⅲと判定された橋梁数485箇所)

30%

100%

アダプト活動…住民団体・学校・企業など地域の方々が、ボランティアで道路・河川の美化・清掃などに取り組む活動。

健全度…施設の健全性の診断を4段階で行ったもの(Ⅰ健全、Ⅱ予防保全段階、Ⅲ早期措置段階、Ⅳ緊急措置段階)

アセットマネジメント…公共土木施設を資産(アセット)としてとらえ、将来の施設の状態を予測し、初期建設費用+維持管理費+更新費用(ライフサイクルコスト)が最小となる補修工法と補修時期を選定する総合的な管理・運用(マネジメント)方法。

AI…Artificial Intelligence(人工知能)の略。コンピュータがデータを分析し、推論・判断、最適化提案、課題定義・解決・学習などを行う、人間の知的能力を模倣する技術を意味する。